

1. 評価報告概要表

作成日 平成19年 9月12日

【評価実施概要】

事業所番号	4077200121		
法人名	医療法人 波多江外科		
事業所名	グループホーム あかり		
所在地 (電話番号)	福岡県糸島郡志摩町大字小富士258番地 (電 話`092- 327- 2000		
評価機関名	株式会社 アトル		
所在地	福岡市博多区半道橋2- 2- 51		
訪問調査日	平成19年9月5日	評価確定日	平成19年9月21日

【情報提供票より】(19年 8月 1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 11年 6月 1日			
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計 27 人		
職員数	27 人	常勤 25人, 非常勤 2人, 常勤換算 16.2		

(2)建物概要

建物形態	併設 / 単独	新築 / 改築
建物構造	鉄骨準耐火 造り	2 階建て, 1 階 ~ 2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 15,000 24,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食 円	昼食 円	
	夕食 円	おやつ 円	
	または1日当たり	1,480 円	

(4)利用者の概要(8月 1日現在)

利用者人数	27 名	男性	5 名	女性	22 名
要介護1	8 名	要介護2	8 名		
要介護3	8 名	要介護4	3 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 84.1 歳	最低 57 歳	最高 96 歳		

(5)協力医療機関

協力医療機関名	波多江外科病院・クリニックパキス・糸島医師会病院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム「あかり」は、市街地より少し離れた田園地帯に位置し、広い敷地内には老健、デイサービス、クリニックがあり、庭が広く、花壇や庭園や畑がある。その畑で利用者の方は野菜等を栽培し、収穫された野菜は食卓に並び利用者皆さんで食べられている。また、庭の中央には東屋があり、散歩の休憩やお茶を飲んだりほっとくつろぐことができる。開設から八年目を迎えたが、3ユニットという規模を感じることもなく実にアットホームで、利用者の個性を大切にした自立支援を目指している。ホーム長・管理者・職員一丸となって介護を行っているため、利用者はいきいきとして生活を楽しんでいる様子が伺える。また、法人内でのサークル活動が頻繁に行われ自由に参加ができ、利用者の方は好きなことをしながら毎日を送っている。母体が医療機関で、医療との連携が取れており、健康管理、緊急時の治療を含め、24時間体制で対応できるシステムをとっているため、利用者と家族ともに安心して過せるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で気軽に入る玄関まわり等の配慮、確実な申し送り情報の伝達、成年後見制度等の活用等の指摘を踏まえ、全職員で会議を開き改善を行っている。具体的に玄関の場所がわかるように案内板の設置、申し送りノートのサインや捺印欄の追加、成年後見制度等のパンフレットを準備し全体で勉強会を開き、前向きに取り組まれている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の実施には職員全員で取り組み、外部評価の結果を踏まえサービスの改善に取り組んでいくことを全員で確認している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	二ヶ月に一回開催しており、利用者の家族、地域住民の代表、地域包括支援センター職員、ホーム長、介護主任、支援相談員に参加を頂いている。利用者の家族については毎回交代で出席してもらっている。ホームにおける利用者の状況、サービス提供の状況報告や行事案内の他、サービスの要望・助言等を聞き、サービスの向上に取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)
	意見箱を玄関に設置したり、介護計画の説明時や面会の時に意見を聞き取るようにしている。また、運営推進会議に毎回家族をかえて出席してもらい、意見を頂き、検討しサービスに反映している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	月の行事に地域のボランティアに来てもらったり、小・中学生の職場体験を行ったり、地域の夏祭りに参加したり、法人内の夏祭りでは盆踊りや子供みこしを披露してもらったりと地域に溶け込んでいる様子が伺える。

2. 評価報告書

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくらせている	開設当時からの「あなたの大切な1日を心豊かに」の理念はあるが、特に地域密着を意識した理念にはなっていない。	○	地域密着型サービスの役割を理解し、地域のなかで暮らすことを意識し、果たすべき役割を反映した具体的理念を加えることが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内に運営理念を掲示し、管理者と職員はそれを共通理解し、理念の実現に励んでいる。		
2.地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	月の行事に地域のボランティアに来てもらったり、小・中学生の職場体験を行ったり、地元の夏祭りに参加したり、法人内の夏祭りでは盆踊りや子供みこしを披露してもらったりと地元の人々との交流に努めている。		
3.理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義は全職員とも理解している。今回の評価を基とし、更に改善しようと取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回開催し、利用者の家族、地域住民の代表、地域包括支援センター職員、ホーム長、介護主任、支援相談員に参加いただいている。内容として、ホームの状況報告、行事案内、サービスの要望や助言を聞き、サービス向上に取り組んでいる。		

グループホーム あかり

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	以前、法人内に在宅介護支援センターもあり、志摩町との関わりは深く、毎月一回志摩町で行われるネット会議に出席しており、積極的に意見交換を行い、サービスの質の向上に努めている。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在は対象者はいないが、ホームではミーティング時に勉強会を開き、個人でパンフレットを持参している。必要時には、パンフレットを用いながら職員も対応できるようにしている。		
4.理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に一回利用者毎に状況の報告書を作成し、面会時に渡したり、面会が無い場合には家族に郵送している。また、金銭管理については、金庫で預かり、出納帳を家族に見てもらいサインを頂いている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を玄関に設置したり、介護計画の説明時や面会の時に意見を聞き取るようにしている。また、運営推進会議に毎回家族をかえて出席してもらい、意見を頂き、検討しサービスに反映している。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在の所職員の異動はなく、必要最小限に抑える努力をしている。利用者、家族の信頼関係を築くためにも馴染みの職員が継続的に対応出来るよう努めている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援					
11	19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	募集・採用にあたって年齢性別等での制限はしていない。また、色々な年代の職員が勤務し、男性職員も採用しており、それぞれの能力に応じて仕事に取り組んでいる。		
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	法人内との勉強会やホーム内での勉強会を開催し、人権教育、啓発活動に取り組んでいる。		
13	21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人が実施する研修を定期的に計画して行われ、研修会へ積極的に参加できる体制は整っている。また、ミーティングで様々なテーマを出し合い勉強会を行っている。		
14	22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月一回志摩町で行われるネット会議に他グループホームの方も出席されており、意見交換を行いサービスの質の向上に努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と一緒にホームに来てもらい見学を行ったり、併設のデイサービスを利用してもらい、少しでも職員他の利用者と顔見知りになってもらえるよう工夫をしたり、支援相談員が自宅に向いて会話をしたり、様子を見たいとして事前に状況を把握し馴染めるような工夫をしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ゆっくり話を聞き利用者のペースに合わせ、年配者として敬う気持ちで接し共に学び支え合うよう努めている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
17	35	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時家族から希望を尋ねたり、生活暦を聞いた。本人からの希望はケアをしながら把握に努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の状況や課題、家族の意向を把握し現在のスタッフ、主治医、併設施設の看護師、PT、相談員、栄養士等の関係者を踏まえて、ケア会議で検討し作成しており、サービス内容もこまかくなっている。		
19	39	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	原則三ヶ月毎に会議を開き職員からの利用者の情報を入手したり家族からの意見を聞いた。介護記録をもとに見直しを行っている。また、利用者の状態変化によっては、随時見直しを行っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携加算の指定を受け健康管理や体調の急変に対応出来るようにしている。また、本人・家族の状況に応じて通院や送迎等必要な支援を行ったり、買い物や外出など柔軟に対応している。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関および入居前からのかかりつけ医で受診をしてもらっている。歯科については定期的に往診を行っている。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「看取りの指針」を作成し、主治医が必要と判断した場合家族に説明し、重度化や終末期に向けた方針の共有を職員とともに図っている。		
5.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1.その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会を開き、利用者に対する言葉づかいや態度についての話しが行われており、利用者の尊厳を守るように徹底している。また、個人情報保護についてはよく理解しており、情報の漏洩防止に努めている。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者それぞれのペースに合わせて無理強いすることがないように注意しながら対応している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が利用者との間に入り一緒に食事をしている光景が和やかな雰囲気であった。職員は食べこぼし等についてもさりげなくサポートしている。また、片付け等も利用者と共に行われている。		
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望や体調に合わせて入浴支援し、時間帯も特に決めてなくゆとりを持って行われている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの楽しみや趣味等の把握に努めており、食器洗いや食器の後片付け、洗濯物の取り込みやたたみ、掃除など利用者の力量に応じて役割を持ってもらえるような場面作りの支援を行っている。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者一人ひとりの希望に応じて庭に出て日光浴を行ったり、買い物に出掛けたりと職員が見守りながら支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠は20時から7時までに行っているが、その他の時間帯は玄関の鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。また、利用者が外出しそうな時は止めるのではなく、さりげなく声をかけたり一緒にについていったりと安全面に配慮している。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう動きかけている	ホームでの火災避難訓練は行っているが地域の人々への災害や避難訓練の際の協力を得られるまでには至っていない。	○	日頃より地域住民との連携を図りながら事務所の災害時対策に関する理解を求め協力体制を築いていくことが望まれる。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士がカロリー計算され献立をたて個人の状態に応じて量や形態を変えたり支援している。また、食事の摂取量のチェックを行っている。水分量については必要な方のみであるが、朝・夕、10時、食後、体操後等とこまめに補給を行っている。お茶以外にスポーツ飲料水も準備している。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や廊下、食堂などの共有空間には季節の花、利用者がカラーのちり紙で作成した貼り絵が飾られ家族的な雰囲気を作り出している。また、音、光、室内の温度は快適な状態に保たれ居心地よく過ごせる環境となっている。		
33	85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はフローリングの洋室や和室を準備している。それぞれの利用者の好みや馴染みの物などを自由に持ち込むこともでき、その人らしく過ごせる部屋づくりになっている。		